

## アレルギー疾患に関する研究等の推進

## 1 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業

## &lt;事業概要&gt;

リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症、膠原病などの免疫アレルギー疾患は、長期にわたり著しく支障をきたすため、国民の健康上重大な問題となっている。そこでこれらの疾患について、発症原因と病態との関係を明らかにし、予防、診断及び治療法に関する新規技術を開発するとともに、既存の治療法の再評価を行うことにより、国民に対してより適切な医療の提供を目指す。

## &lt;平成16年度採択課題一覧&gt;

NO.	開始	終了	主任研究者	フリカナ	所属施設	職名	研究課題名
1	16	18	江口 勝美	エグチカツミ	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	関節リウマチの早期診断法の確立及び臨床経過の予測に関する研究
2	16	18	白川 太郎	シラカヲロウ	京都大学大学院医学研究科	教授	地域集団でのコホート研究による便中細菌診断妥当性の研究
3	16	18	竹内 勤	タケウチツトム	埼玉医科大学総合医療センター	教授	リウマチ・アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテーラーメイド治療法の確立に関する研究
4	16	18	近藤 直実	コトウナオミ	岐阜大学大学院医学研究科	教授	アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテーラーメイド治療法の確立に関する研究
5	16	18	宮坂 信之	ミヤサカノブキ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	教授	関節リウマチ治療における新規生物製剤の治療方針の作成及びその検証に関する研究
6	16	18	三浪 明男	ミナミアキオ	北海道大学大学院医学研究科	教授	関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究
7	16	16	一ノ瀬 正和	イチノセマサカズ	和歌山県立医科大学医学部	教授	気道過敏性の簡便な診断法開発とその応用による喘息管理向上に関する研究
8	16	18	岩本 逸夫	イワモトイフオ	千葉大学大学院医学研究院	助教授	上気道及び下気道アレルギーの臓器過敏性における臓器特異的免疫着座の解明と早期治療法の開発
9	16	18	岡本 美孝	オカモトヨシタカ	千葉大学大学院医学研究院	教授	小児アレルギー性鼻炎の成人への移行を阻止するための治療法の確立に関する研究
10	16	18	赤澤 晃	アカサワアキラ	国立成育医療センター	医長	気管支喘息の有病率・罹患率およびOOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究
11	15	17	福田 健	フクダタケン	獨協医科大学内科学	教授	気管支喘息の慢性化・難治化の予防を目指す、早期介入療法のための早期診断法の確立に関する研究
12	15	17	森川 昭廣	モリカワアキヒロ	群馬大学大学院医学系研究科	教授	免疫アレルギー疾患に係わる胎内・胎外因子の同定に関する研究
13	15	17	海老澤 元宏	エイサワモトヒロ	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	部長	食物等によるアナフィラキシー反応の原因物質(アレルゲン)の確定・予防・予知法の確立に関する研究
14	15	17	河野 陽一	カノノウイチ	千葉大学大学院医学研究院	教授	アトピー性皮膚炎等の有症率調査法の確立および有症率(発症率)低下・症状悪化防止対策における生活環境整備に関する研究
15	15	17	安枝 浩	ヤスエタヒロシ	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	室長	スギ花粉・ダニ由来のアレルゲンの分析と診断・治療への応用に関する研究
16	15	17	西岡 清	ニシオカキヨシ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	教授	重症アトピー性皮膚炎の難治化機序を踏えた治療法の確立に関する研究
17	15	17	森 晶夫	モリアキオ	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	部長	気管支喘息の難治化機序の解明と予防・治療法の開発に関する研究
18	15	17	秋山 一男	アキヤマカズオ	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	センター長	免疫アレルギー疾患予防・治療研究に係る企画及び評価に関する研究
19	14	16	大久保 公裕	オオクホキミヒロ	日本医科大学耳鼻咽喉科	助教授	花粉症のQOLからみた各種治療法評価と新しい治療法開発の基礎的研究
20	14	16	小川 秀興	オカワヒデオキ	順天堂大学医学部	学長	皮膚・気道・鼻粘膜局所におけるresidential cellによる生体防御機構のアレルギー疾患における役割の解析
21	14	16	清野 宏	キヨノヒロシ	東京大学医学研究所	教授	アレルギーにおける粘膜免疫を基点とした全身・皮膚免疫クロスネットワークシステムの解明と予防への応用に向けた基礎研究
22	14	16	玉置 邦彦	タマキクニヒコ	東京大学大学院医学研究科	教授	皮膚アレルギー炎症発症と治療におけるサイトカイン・ケモカインとその受容体に関する研究
23	14	16	玉井 克人	タマイカツト	大阪大学大学院医学系研究科	助教授	重症アトピー性皮膚炎に対する核酸医薬を用いた新規治療法の開発
24	14	16	古江 増隆	フルエマサタカ	九州大学大学院医学研究院	教授	アトピー性皮膚炎の既存治療法のEBMによる評価と有用な治療法の普及
25	14	16	出原 賢治	イズハラケンシ	佐賀大学医学部	教授	アレルギー疾患の遺伝要因と環境要因の相互作用に関する研究
26	14	16	大田 健	オオタクン	帝京大学医学部	教授	アレルギー疾患の発症及び悪化に影響する因子の解析
27	14	16	越智 隆弘	オチカヒロ	独立行政法人国立病院機構相模原病院	院長	関節リウマチ・骨粗鬆症患者の疫学、病態解明と治療法開発に関する研究
28	14	16	吉田 勝美	ヨシダカツミ	聖マリアンナ医科大学予防医学教室	教授	関節リウマチの疫学、患者の受療動態に関する研究
29	14	16	當間 重人	トウマシゲト	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	部長	関節リウマチにおける内科的治療の検証に関する研究
30	14	16	西岡 久寿樹	ニシオカクスキ	聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター	センター長	関節リウマチの先端的治療に関する研究
31	14	16	守屋 秀賢	モリヤヒデシケ	千葉大学大学院医学研究科	教授	変形性膝関節症の生活機能維持・再建に関する研究
32	14	16	米延 策雄	ヨネノアサオ	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	副院長	関節リウマチの頸椎・上肢機能再建に関する研究
33	14	16	田中 良哉	タナカヨシヤ	産業医科大学医学部	教授	免疫難病のシグナル異常と病態解明・治療応用に関する研究
34	14	16	三森 経世	ミモリツネヨ	京都大学大学院医学研究科	教授	全身性自己免疫疾患における難治性病態の診断と治療法に関する研究
35	14	16	橋本 博史	ハシモトヒロシ	順天堂大学医学部	教授	免疫疾患の合併症とその治療法に関する研究
36	14	16	山本 一彦	ヤマモトカズヒコ	東京大学大学院医学系研究科	教授	免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的な新規治療法に関する研究

## ＜研究課題の評価＞

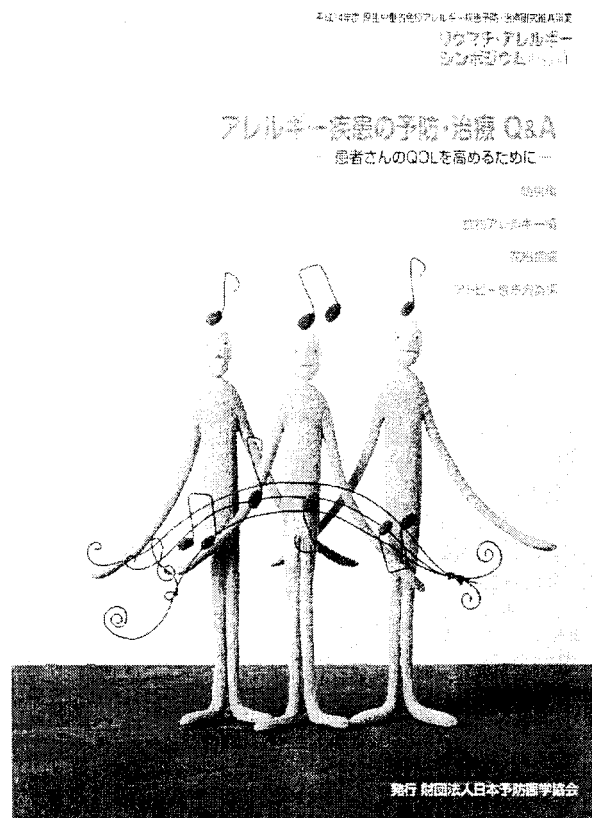
研究課題の評価は、新規申請課題の採択の可否等について審査する「事前評価」、研究継続の可否等を審査する「中間評価」（※）、研究終了後の研究成果を審査する「事後評価」の3つの過程に分けられる。

※ 研究期間が複数年度で採択された研究課題であっても、中間評価により途中で終了することがある。

## 2 免疫アレルギー疾患予防・治療研究推進事業

研究費補助のほか、採択された研究を支援するため、各種事業を実施している。

- 外国人研究者招へい事業
- 外国への日本人研究者派遣事業
- リサーチ・レジデント事業（若手研究者育成活用事業）
- リウマチ・アレルギーシンポジウム開催 等



## リウマチ・アレルギー分野の研究費について

(平成9年度以降)

年 度	研究事業名	予算額
平成 9 年度		2.75億円
平成10年度		3.55億円
平成11年度	厚生科学研究費補助金 感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業	4.46億円
平成12年度		6.47億円
平成13年度		7.46億円
平成14年度		13.09億円
平成15年度	厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業	11.37億円
平成16年度		11.05億円
平成17年度		11.12億円

- アレルギー疾患については平成4年度より「厚生省アレルギー総合研究事業」として、それぞれ総合的な研究が開始された。
- 平成9年度より、厚生労働科学研究の一研究事業として位置付けられ、以後、より一層の研究体制の整備が図られている。